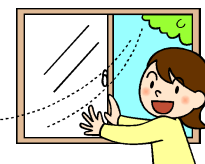


保健だより 1月

高浦中学校
保健室
1月号
2023.1.23

3学期が始まって2週間あまりが過ぎました。すでに3年生は受験シーズンの真っ最中ですが、新型コロナウイルスとインフルエンザの両方の流行期に入っているようです。感染することは仕方のないことですが、感染しないにこしたことはないと思うので、1・2年生の人も3年生を応援する意味でも、気を引き締めて感染対策をしましょう。

感染予防の基本は、「石けんでの手洗い」「消毒」「マスクの着用」「換気」の4点です。新型コロナウイルス感染症もインフルエンザも同じです。そして、体調がいつもと違うなと思ったら、がまんをせずに休養するようにしましょう。



みなさんにご紹介



10月からの保健だよりで、『13歳からの「ネットのルール」～誰も傷つけないためのスマホリテラシーを身につける本～』から、中学時代のみなさんに知らせたいと思った内容を紹介しています。今回はその4です。

その4 「ネットで絶対に失敗しない方法」

ここまで「ネットを現実的に置き換える」「日常と同じモラルで使う」と伝えてきました。それは、言い換えれば「日常でやっていいことなら、ネットでやってもいい。」「日常でやらないことは、ネットでもやらない。」ということです。

でも、もっと簡単で覚えやすい方法があります。それは……

「自宅の玄関ドアに貼れるものが、ネットに投稿できる限界」と覚えましょう。

この基準でネットを使えば、ネットで失敗したり、トラブルになったりすることはないでしょう。



★「ネット」の自由には限界がある

過去、実際に起きたネットの炎上やトラブルでは、「自宅の玄関ドアに貼れたもの」はひとつもありません。逆に「玄関に貼れるのに、炎上した、もめた」というケースはないのです。だから、ネットの限界は「玄関に貼れるもの」でいいのです。

ネットが持っている「何でも投稿できる」範囲は、せいぜい玄関ドアに貼れる程度まで。それ以上のものは、必ず何か問題を引き起こします。ネットはすべて家の外。しかも「何かやらかせば必ず身元が特定される」場所。家の外で身元が特定される場所なんて一カ所しかありません。「自宅の玄関ドア」これがネットの正体。だから玄関に貼ればネット投稿もOK。貼れないのなら投稿しない方がいい……のではなくて、投稿できないのです。

- ネットはすべて家の外。しかも身元がばれる場所
- 自宅の玄関ドアに貼れるものなら、投稿OK

